

議題「『あきのおもちゃまつり』のないようをかながえよう」(学級活動(1)ア 学級や学校における生活上の諸問題の解決)

1 目指す児童の姿と付けさせたい資質・能力		
<p>相手意識をもち、楽しませる会を考えることによって、相手のことを考え、もてなすことができるようにしたい。</p> <p>話し合ったことを基に、合意形成を図りながら、会に向け、互いに協働して取り組めるようにしたい。</p>		
協働性	主体性	創造性
互いに協働して取り組もうとする。	自分の意見を発表したり、友達の意見をよく聞いたりして、合意形成を図る。	学級全員で一つのものをつくり上げるために、互いに協働して取り組もうとする。



3 評価規準			
観点	よりよい生活を築くための知識・技能	集団や社会の形成者としての思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度
評価規準	<p>みんなで学級生活を楽しくするために他者と協働して取り組むことの意義を理解している。</p> <p>話し合いの進め方に沿った意見の発表の仕方や他者の意見の聞き方を理解し、活動の方法を身に付けている。</p>	<p>学級生活を楽しくするために、問題を発見し、話し合いの進め方に沿って解決方法について合意形成を図り、仲よく助け合って実践している。</p>	<p>学校生活を楽しくするために、見通しをもったり振り返ったりしながら、自己の考えをもち、役割を意識して集団活動に取り組もうとしている。</p>
目指す児童の姿	<p>合意形成したことに對して、みんなの気持ちを一つにして取り組むことの大切さについて理解している。</p>	<p>話し合いの約束に沿って、自分の意見を発表したり、友達の意見をよく聞いたりして、合意形成を図っている。</p>	<p>学級全員で一つのものをつくり上げるために、互いに協働して取り組もうとしている。</p>

2 題材について	
(1) 児童の姿	<p>本学級の児童は、活発な児童が多い。入学してから6か月が経ち、以前と比べて、学級での活動が増えてきた。学級活動(2)「みんななかよしにこここことば」の学習の後、一人一人が友達と仲よくなるための接し方を考えながら、互いに関わることができるようになってきている。</p> <p>一方、自分の気持ちを素直に伝えられず、相手を意識して行動することが難しい児童も見られる。</p>
(2) 議題設定の理由	<p>本議題は、「あきのおもちゃまつりをもう一度したい。」「他の人も招待して楽しんでもらいたい。」という児童の思いや願いを議題化したものである。これまで、上学年に招待してもらうことが多かったが、逆の立場になることで、相手意識をもって話合えることができると考えられる。生活科「たのしいあきいっぱい」での経験を生かして、主体的な話し合いができるようにしたい。</p>
(3) 指導にあたって	<p>事前では、生活科「たのしいあきいっぱい」の学習で、楽しくなる工夫をしながらおもちゃづくりをし、「あきのおもちゃまつり」でそれらを共有化できるようにする。これを、近隣の保育園児を招待する活動へと広げる。その際、今まで招待してもらった活動を振り返り、嬉しかった経験を想起できるようにする。</p> <p>本時では、だれのための会をするのかを意識できるようにする。</p> <p>事後は、全員で準備を分担し、協力して進められるよう時間を設けたい。また、活動後には振り返りをして、相手意識をもって取り組む大切さや児童の頑張りを価値付けし、次回の集会活動に生かせるようにする。</p>

4 指導と評価の計画

(1) 事前の活動		(2) 本時の展開			(3) 事後の活動	
活動内容と教師の支援		本時のねらい 「あきのおもちゃまつり」で、保育園の子も楽しめるようにするには、どのような工夫を取り入れれば良いかを考え、話し合って決めることができる。			活動内容と教師の支援	
10月中旬	<u>図画工作科「あきのおもちゃをつくろう」</u> 木の実や葉で遊びに使うものを工夫して作ることができる。	話し合いの順序 1 はじめの言葉 2 計画委員会の紹介 3 議題と提案理由の確認	教師の支援 ○ 事前の計画委員会で、自分のめあてが言えるようにする。	目指す児童の姿と評価方法	11月上旬	係や役割分担ごとに準備をする。(学級全員)
10月中旬	<u>生活科「おもちゃをつくってあそぼう」</u> 木の実や葉で遊びに使うものを工夫して作り、みんなで遊ぶことの面白さや、約束やルールを守って遊ぶと楽しいことに気付く。	議 題 「『あきのおもちゃまつり』のないようをかんがえよう」 提 案 理 由 学級会ノートに記載 話し合いのめあて はなしあいのやくそくをまもって、ねんちょうさんにたのしんでもらえるようなおまつりをかんがえよう			11月中	「あきのおもちゃまつり」自分のめあての達成に向かって努力している児童を称賛する。
10月下旬	<u>計画委員会</u> 議題案の選定。 学級会カードの作成。 役割分担をし、話し合いの進め方を確認する。	4 先生の話・決まっていることの確認 ○ 提案理由の中で大事にしたいキーワードについて確認する。	決まっていること ・日時：11月〇日(〇)〇校時 ・場所：1年生教室(体育館) ・来る人数：〇人		12月上旬	振り返り(学級会ノートへの記入) 自分の態度などを振り返るとともに、友達や学級のよかったところについても認められるようにする。
		5 話し合い 柱1 楽しんでもらうための工夫 ・ 出し合う ・ 認め合う・高め合う ・ まとめる	○ 「楽しんでもらうためには、どうすればよいか。」と助言し、相手意識がぶれないようにする。 ○ 「認め合う・高め合う」場面では、理由を添えて発言するよう言葉掛けをする。	○ 話し合いの約束に沿って、自分の意見を発表したり、友達の意見をよく聞いたりして、合意形成を図ることができる。 (思・判・表) [観察・ワークシート]		
		6 決まったことの発表 7 振り返り 8 先生の話 9 終わりの言葉	○ 学級会のよかった点、課題、今後の見通しなどについて簡潔に述べる。			
(4) 新しい活動		よりよい人間関係づくりができるイベントを企画し、実施する。(例：係活動や集会活動等)				
他教科等との関連		生活科「あきのおもちゃをつくろう」 図画工作科「あきのおもちゃをつくろう」				